

若い人達へ

私は、25歳のパートをする独身女性です。実は、高校も卒業間近の18歳の12月ころから、ひょんなことから米軍人男性とつきあうこととなったのです。私は、勉強が嫌いで、大学に行くことも諦め、かといって特にやりたいこともなく、普通に結婚でもして、子供は二人位欲しいなど漠然と思っていたのです。ただ、英語が話せたら外国旅行の時便利だろうなど多少興味を持ち、挨拶程度の簡単な会話はできました。英会話の勉強も兼ねて学校の友人とは、よく、外人さんのいる基地周辺の町に遊びに行くことが多かったのです。

ある日、身長がとても高くて、格好いい米軍人さんに声をかけられ、友達三名で米軍基地の中に初めて入ったのです。まるで、日本とは思えない、映画でみた、どこかアメリカを思わせる風景だったのです。一挙に外国に行ったみたいで、エキサイトしたのです。そして、私は、ほどなくその背が高く格好良い外人さんとつきあうようになりました。3月に高校を卒業すると、開放感で、二人の間は急激に親密になり、基地外のホテルでいっしょに泊まったり、基地内の兵舎に潜り込んだりもしました。だんだん、毎日一緒にいたくなり、いつしか、彼は基地外にアパートを借り、親が止めるのも聞かず、二人で住むようになったのである。

そうした、ある晩、彼が、なにやら「お茶っ葉」みたいなものを取り出して、タバコのように吸い、とても楽しそうに笑い出したのです。そして、「これらを吸ったらリラックスできもっと楽しくなるよ。ハッピースモークだ」と言って勧めてきたのです。最初はなんだろうと思いましたが、彼が、あまりに、楽しそうなので、私は、深く考えることもなく、流れに任せて、彼の教えてくれるように、吸ってみたのです。その時それが、まさか、違法な薬物であるマリファナとは知るすべもありませんでした。二人だけの秘密の宝物だとかってに思っていました。だんだん、吸う回数も増え、彼が、高価なものだと言っていましたので、もしかしてやばいドラッグかなと疑いを持つようになり、「これ何」と彼に聞いたところ、「マリファナだよ」と言ったのです。友人に「マリファナって何」と聞いたところ、「警察に捕まるドラッグじゃない」と言われ心配になりインターネットで調べたところ、違法な薬物で大麻と言い、逮捕されることが分かりました。彼に、そのことを、聞くと、二人でやれば、絶対大丈夫と言われ、私も、人に迷惑かけているわけでもないし、それもそうだと思い、また、大麻を欲しい気持ちを抑えることは出来ず、相変わらず、二人で大麻を吸煙していました。大麻吸う回数や量は、だんだん増えていきました。

そして、ある晩、彼が、切手を4分の1位に切ったような、小さな紙片を取り出して、舐めて、私に、「これ、こんなに小さいが、大麻よりもっともっと良い気持ちになれるよ。まるで雲の上を歩いているような気持ちが味わえるよ」と言われ、勧められたのです。今度は

何だろうと思いましたが、彼との一体感を味わいたく、大麻よりもっといいものとはどんなだろうと、好奇心も手伝い、ためらうこともなくその紙片を舐めたのです。すると、自分がどうなっているのかわからなくなり、全く自分をコントロールできなくなり、だんだん、恐怖心が襲ってきて、何処かへ逃げ出したい気持ちに駆られどうしようもありませんでした。そして、その晩、彼とどんな話をし、どうしたのか、よく、思い出すこともできませんでした。何か別の世界に行ったような変な感覚です。

そして、翌日、誰かが、起こすので、目が覚めてみると、麻薬取締官が来ていて、私は、何だろうと一瞬パニック状態でした。部屋が搜索され、残っていた大麻や紙片が発見され、私達は二人とも逮捕されてしまいました。彼は、大麻を買ったとの事でも、逮捕されたようです。その紙片はLSDという恐ろしい幻覚剤の麻薬であるということが分かりました。

あの時、捕まっていなければ、私は今頃、麻薬の虜になって、身もぼろぼろになっていたんじゃないかと思うと身震いするくらい恐ろしくなります。彼も私も結局、執行猶予の刑をもらったのですが、彼は、米国に強制送還されてしまいました。後で知ったことですが、実は、彼は、米国でも薬物を使用していたんだそうです。彼は、この事件のため日本には来れないそうで、私に「米国へ来て」と言ってはくれましたが、私は、彼と一緒に薬物のない生活をして行く自身がなく、渡米を諦めました。あの時、捕まっていなければ、今頃どうなっていたのかと考えると恐ろしい気持ちでいっぱいです。

やっぱり、悪いことはしていけないと日々反省し、何とか過去を吹っ切りたいと頑張って言います。例え一度だけとは言え、日本において、薬物で検挙されることが、どんなに恥ずかしいことか、家族にどれだけ迷惑がかかるか、身をもって知った今、特に若い人達には、一度だけならとか、誰も見ていないからとか安易に薬物に手を出して欲しくないと思います。ドラッグに手を出すときっと一生後悔することになるからです。そして、家族のみんなも肩身の狭い思いで生きていかなければならないのです。あなた一人では済まないのです。

(25歳 女性)